

『第167回 営業地区内の景気動向調査』

1. 調査内容	平成29年 1～3月期の実績 平成29年 4～6月期の予想		
2. 調査対象	当金庫営業地域内の企業	合計	86社
(業種別内訳)	製造業 31社	卸売業	7社
	小売業 18社	サービス業	9社
	建設業 16社	不動産業	5社
3. 調査担当	道南うみ街信用金庫 業務部 地域貢献課		

☆目次☆

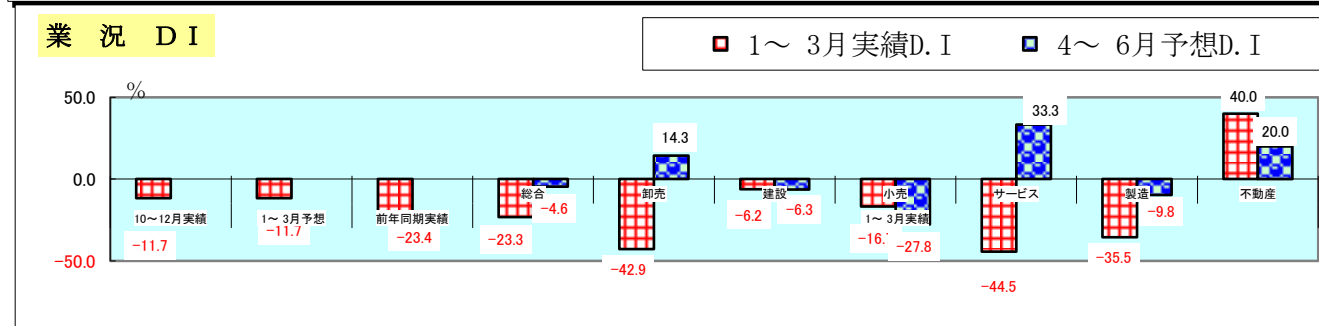
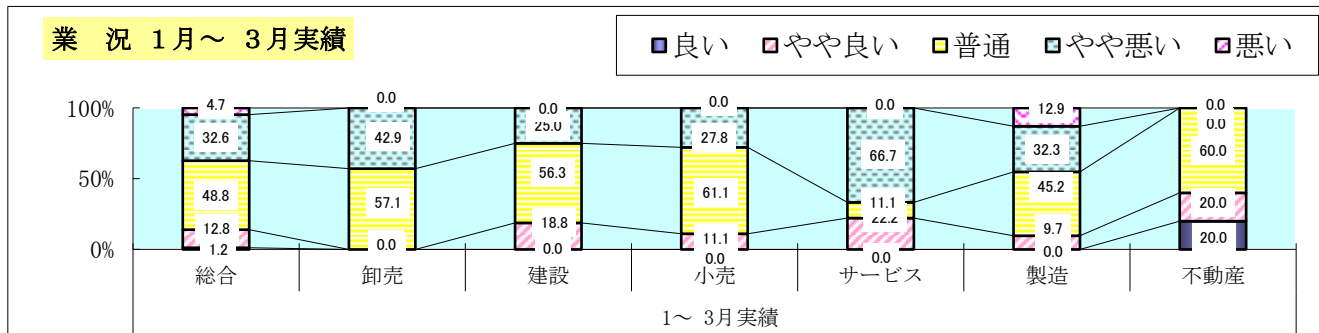
概況	P. 1
前期に比べた売上高の動き	P. 2
前期に比べた受注残・施工高の動き	P. 3
前期に比べた収益の動き	P. 4
前期に比べた販売価格（料金価格）の動き	P. 5
前期に比べた仕入価格の動き	P. 6
前期に比べた在庫の動き	P. 7
前期に比べた資金繰りの動き	P. 8
前年同期に比べた売上額の動き	P. 9
前年同期に比べた収益の動き	P. 10
前年同期に比べた販売価格の動き	P. 11
前期に比べた残業時間の動き	P. 12
前期に比べた人手の動き	P. 13
前期に比べた借入金の動き及び難易度	P. 14
前期に比べた設備投資の動き	P. 15
前期に比べた設備投資の実施と予定状況	P. 16
経営上の問題点	P. 17
当面の重点経営施策	P. 18
特別調査 … 「人手不足下における中小企業の人材活用策について」①	P. 19
特別調査 … 「人手不足下における中小企業の人材活用策について」②	P. 20

※ 計数等については、四捨五入しておりますので、一部合計欄と一致しない場合がございます。



1. 概 況

概 況		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績							-11.7	
1～3月予想							-11.7	
前年同期実績							-23.4	
1～3月実績	総合	1.2	12.8	48.8	32.6	4.7	-23.3	-4.6
	卸売	0.0	0.0	57.1	42.9	0.0	-42.9	14.3
	建設	0.0	18.8	56.3	25.0	0.0	-6.2	-6.3
	小売	0.0	11.1	61.1	27.8	0.0	-16.7	-27.8
	サービス	0.0	22.2	11.1	66.7	0.0	-44.5	33.3
	製造	0.0	9.7	45.2	32.3	12.9	-35.5	-9.8
	不動産	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0	40.0	20.0



○ [当金庫の取引先からみた中小企業の景況]

平成29年 1月～3月期の業況判断D.I.は△23.3と10～12月期(前期)に比べ11.6ポイント悪化となりましたが、前年同期比では0.1ポイント改善を示しました。

今期売上判断D.I.は、前期実績D.I.△1.6から26.3ポイント悪化し、前回調査における今期の予測D.I.△21.6から6.3ポイントの悪化を示しました。

平成29年 4月～6月期(来期)の予想業況判断D.I.は△4.6と、今期実績比18.7ポイントの良化が予想されており、経営者のマインドは業況の上昇を見込んでいます。

○ [全国の信用金庫の窓口からみた中小企業の景況] (信金中央金庫地域・中小企業研究所調べ)

17年1～3月期(今期)の業況判断D.I.は△8.5と、前期に比べ2.5ポイントの低下となったが、前期見通しに比べ小幅な低下にとどまった。

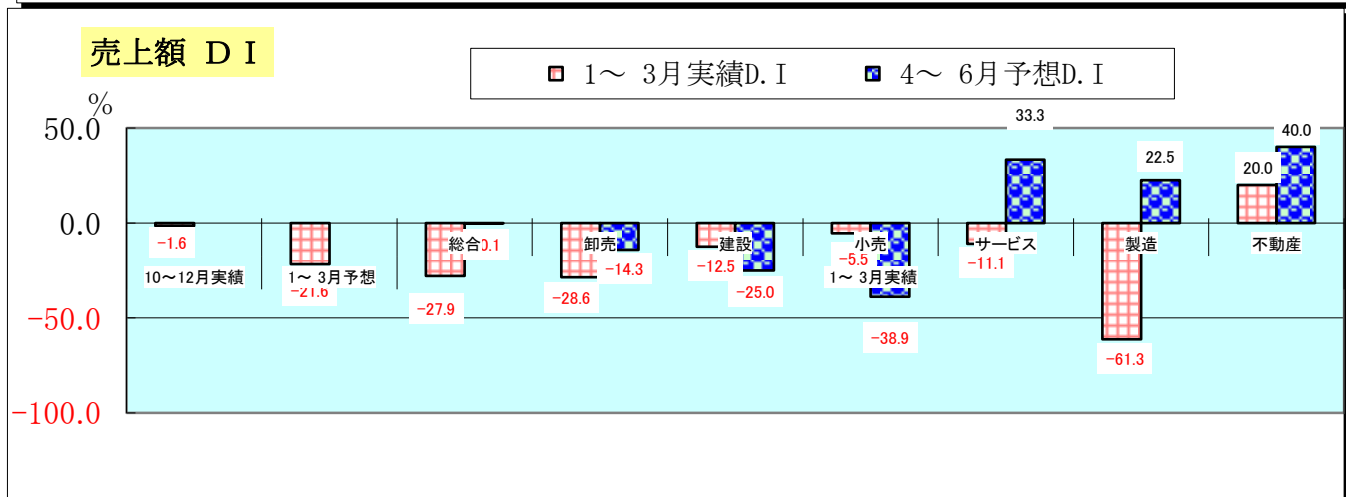
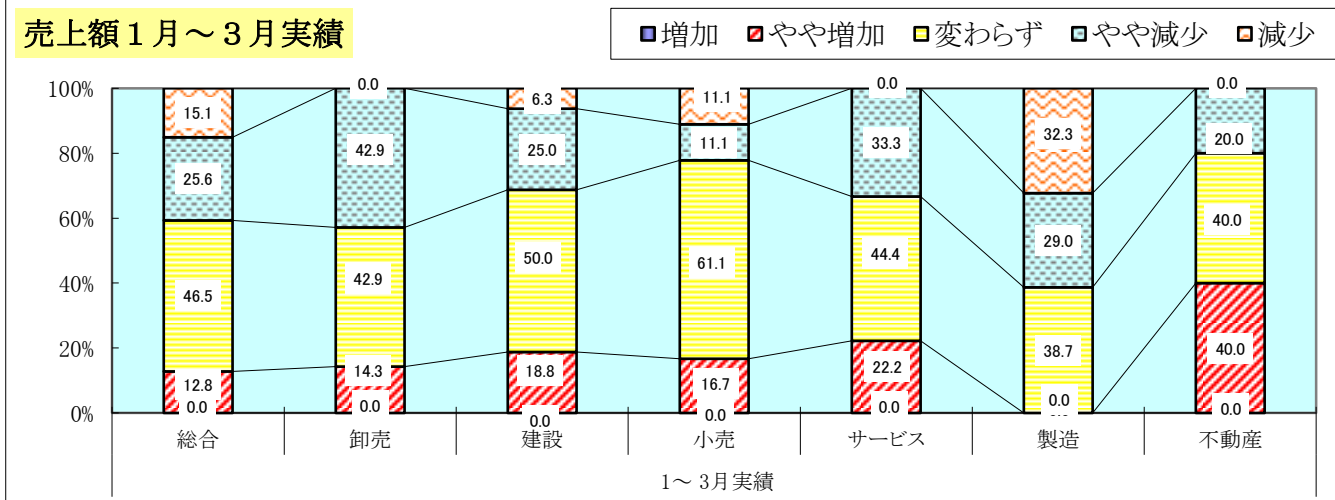
収益面では、前年同期比売上額判断D.I.が△6.1と前期比0.6ポイント改善、同収益判断D.I.は△8.3と同0.1ポイント低下した。販売価格判断D.I.は同1.3ポイント低下し、プラス0.2となった。人手過不足判断D.I.は△21.5と、同0.1ポイント低下し、わずかながら人手不足感が強まった。業種別の業況判断D.I.は、不動産業を除く5業種で低下した。地域別では、11地域中、首都圏、南九州を除く9地域で低下した。

17年4～6月期(来期)の予想業況判断D.I.は△6.3、今期実績比2.2ポイントの改善見通しである。業種別には、建設業、不動産業を除く4業種で、地域別には11地域中、東海、九州北部、南九州を除く8地域で改善する見通しにある。

2. 前期に比べた動き

(1) 売上額の動き

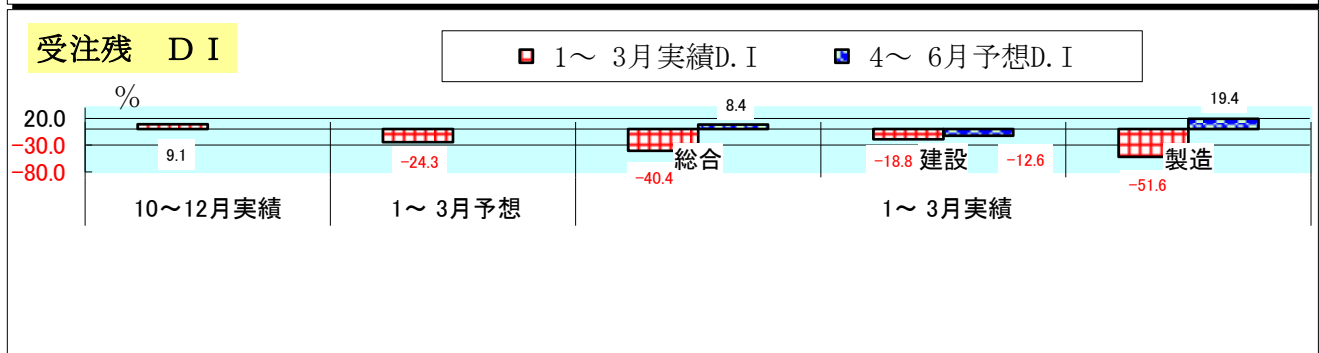
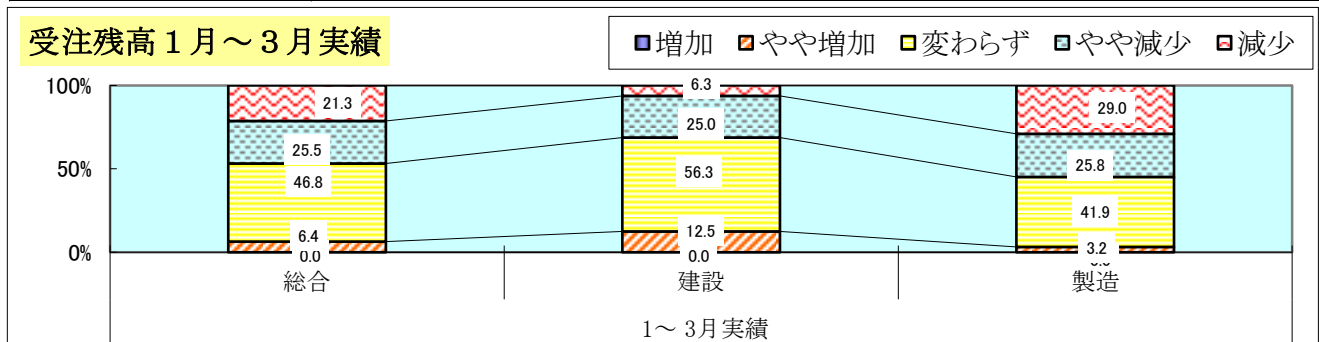
売上額		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績							-1.6	
1～3月予想							-21.6	
1～3月実績	総合	0.0	12.8	46.5	25.6	15.1	-27.9	-0.1
	卸売	0.0	14.3	42.9	42.9	0.0	-28.6	-14.3
	建設	0.0	18.8	50.0	25.0	6.3	-12.5	-25.0
	小売	0.0	16.7	61.1	11.1	11.1	-5.5	-38.9
	サービス	0.0	22.2	44.4	33.3	0.0	-11.1	33.3
	製造	0.0	0.0	38.7	29.0	32.3	-61.3	22.5
	不動産	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	20.0	40.0



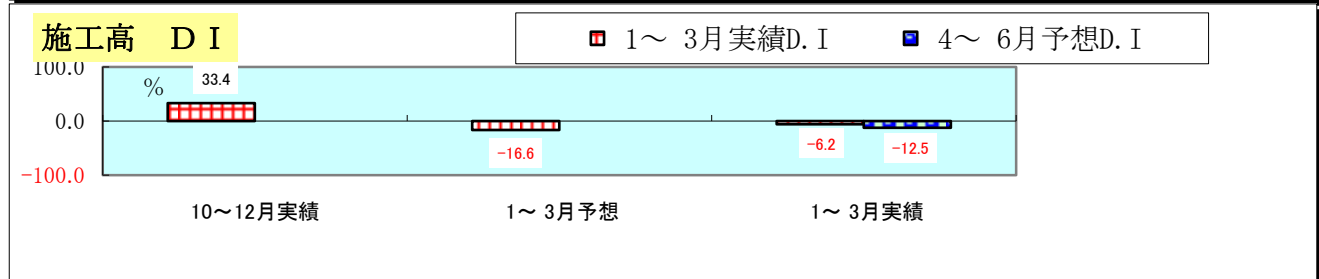
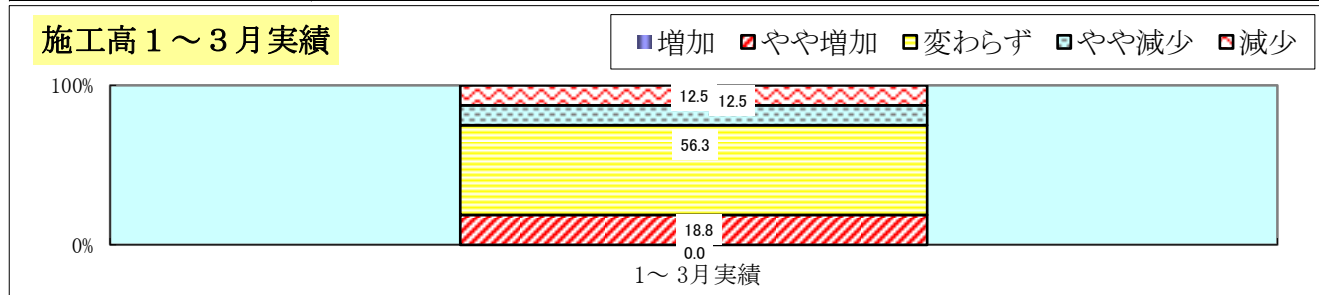
- 前期に比べて売上額が「増加」「やや増加」した企業は全体の12.8%、「減少」「やや減少」した企業は40.7%を示し、D.I.は△27.9となりました。
- 今期実績は、前期実績D.I. △1.6から26.3ポイント悪化し、前回調査における今期の予測D.I. △21.6から6.3ポイントの悪化を示しました。
- 業種別の今期D.I.は、全体的に減少傾向であり、不動産業のみ上昇傾向を示しています。
- 4～6月期の売上額予想D.I.は△0.1で、1～3月実績対比27.8ポイントの上昇を予想しています。

(2) 受注残・施工高の動き

受注残高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績							9.1	
1～3月予想							-24.3	
1～3月実績	総合	0.0	6.4	46.8	25.5	21.3	-40.4	8.4
	建設	0.0	12.5	56.3	25.0	6.3	-18.8	-12.6
	製造	0.0	3.2	41.9	25.8	29.0	-51.6	19.4



施工高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績							33.4	
1～3月予想							-16.6	
1～3月実績		0.0	18.8	56.3	12.5	12.5	-6.2	-12.5

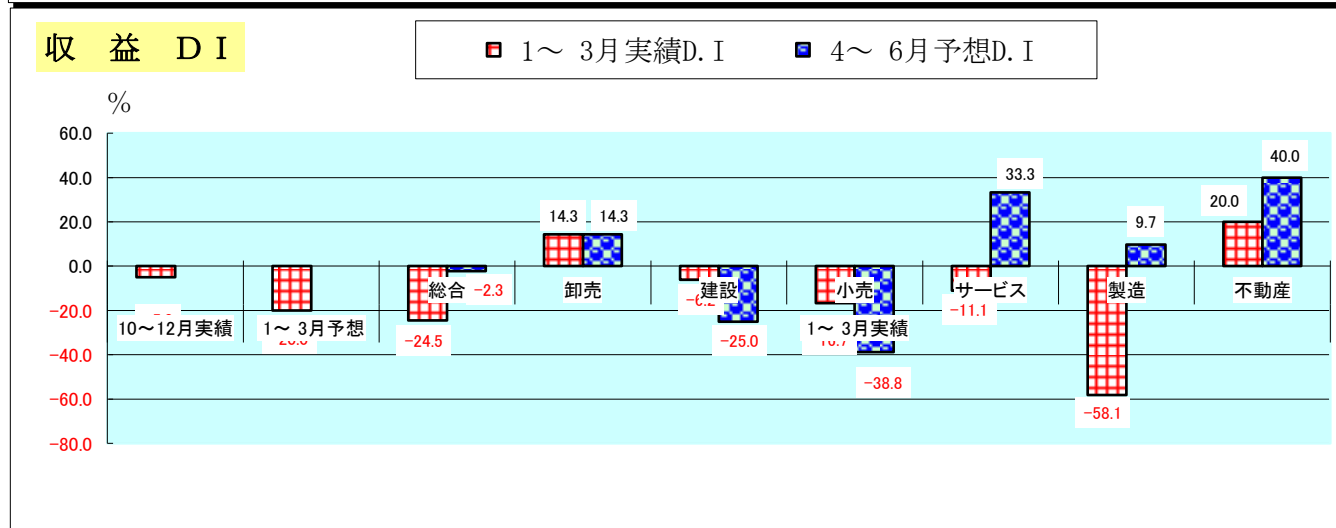
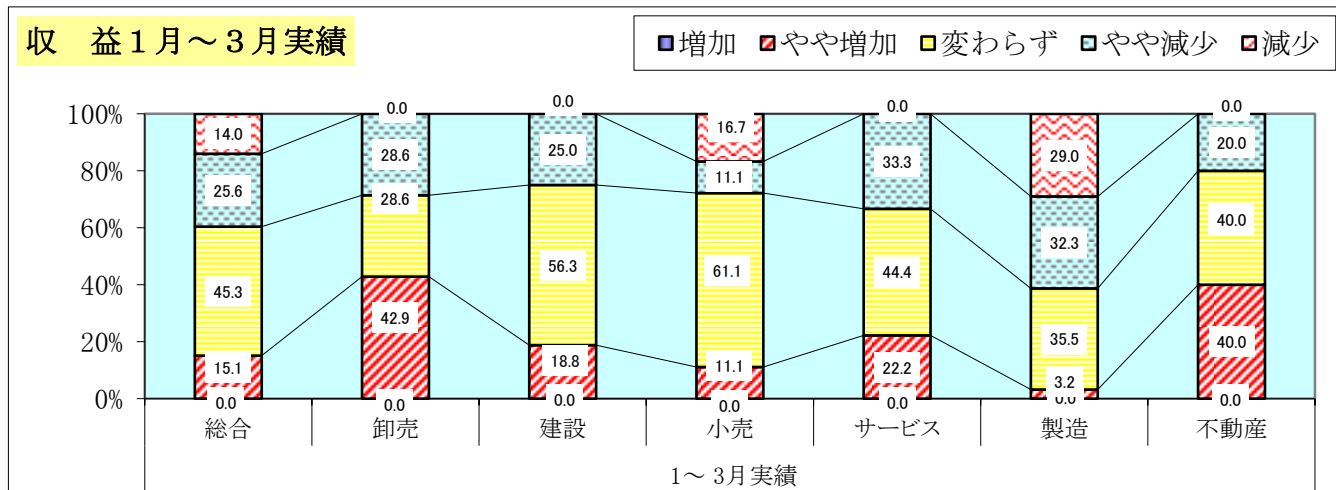


○ 受注残(製造業、建設業のみ)D.I.は $\Delta 40.4$ で前期実績のD.I.9.1に対し49.5ポイント悪化し、前期調査における今期の予想D.I. $\Delta 24.3$ に対しては16.1ポイント下回った。
また、4～6月期の受注残予想D.I.は8.4で、今期実績対比48.8ポイントの上昇を予想しています。

○ 施工高(建設業のみ)D.I.は $\Delta 6.2$ で、前期実績D.I.33.4に対しては39.6ポイント悪化し、前回調査における今期予想D.I. $\Delta 16.6$ に対しては10.4ポイント上回った。
また、4～6月期の施工高予想D.I.は $\Delta 12.5$ で、今期実績対比6.3ポイントの減少を予想しています。

(3) 収益の動き

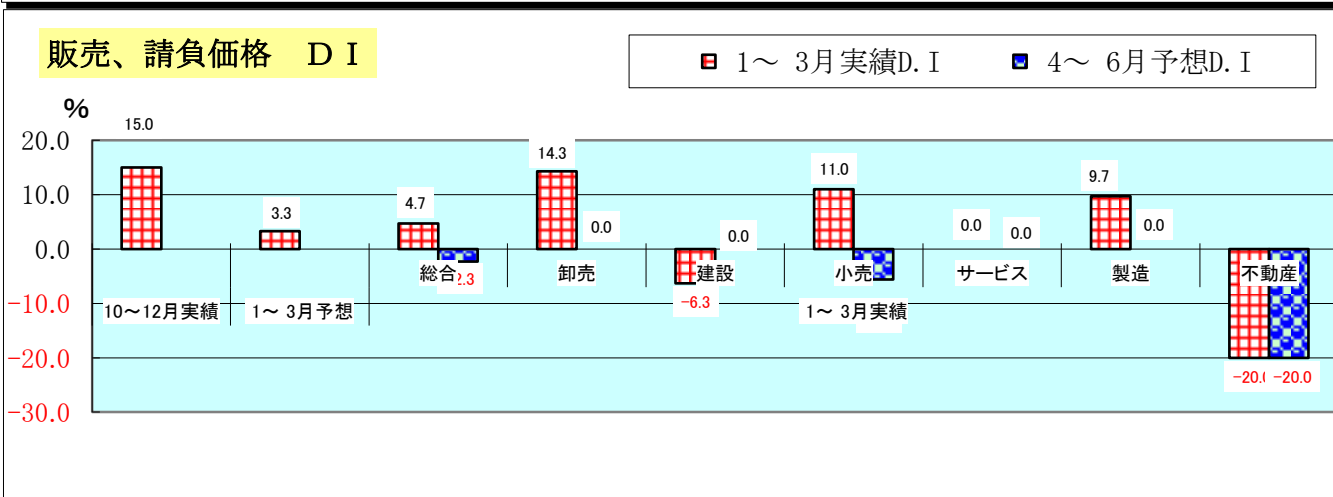
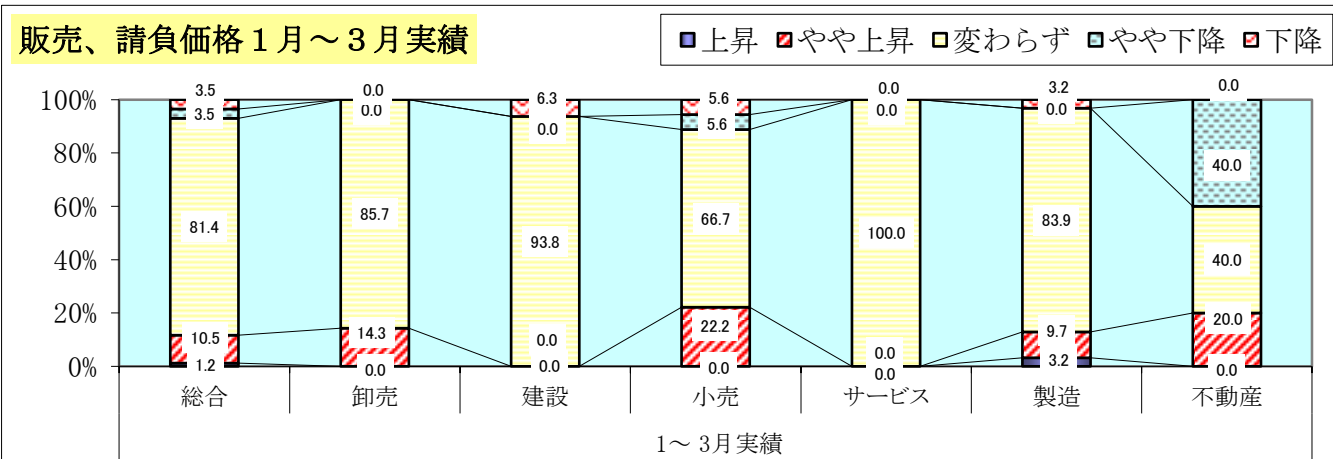
収益の動き		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績							-5.0	
1～3月予想							-20.0	
1～3月実績	総合	0.0	15.1	45.3	25.6	14.0	-24.5	-2.3
	卸売	0.0	42.9	28.6	28.6	0.0	14.3	14.3
	建設	0.0	18.8	56.3	25.0	0.0	-6.2	-25.0
	小売	0.0	11.1	61.1	11.1	16.7	-16.7	-38.8
	サービス	0.0	22.2	44.4	33.3	0.0	-11.1	33.3
	製造	0.0	3.2	35.5	32.3	29.0	-58.1	9.7
	不動産	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	20.0	40.0



- 前期に比べて収益が「増加」「やや増加」した企業は15.1%、「やや減少」「減少」した企業は39.6%でD.I.は△24.5となりました。
- 今期実績は、前期実績D.I. △5.0から19.5ポイントの減少で、前回調査における今期予想D.I. △20.0に対して4.5ポイント減少しました。
- 業種別の今期D.I.は、全体的に減少傾向ですが、卸売業・不動産業では上昇傾向を示しています。
- 4～6月期の収益予想D.I.は△2.3で、1～3月期実績対比22.2ポイントの上昇を予想しています。

(4) 販売価格（料金価格・請負価格）の動き

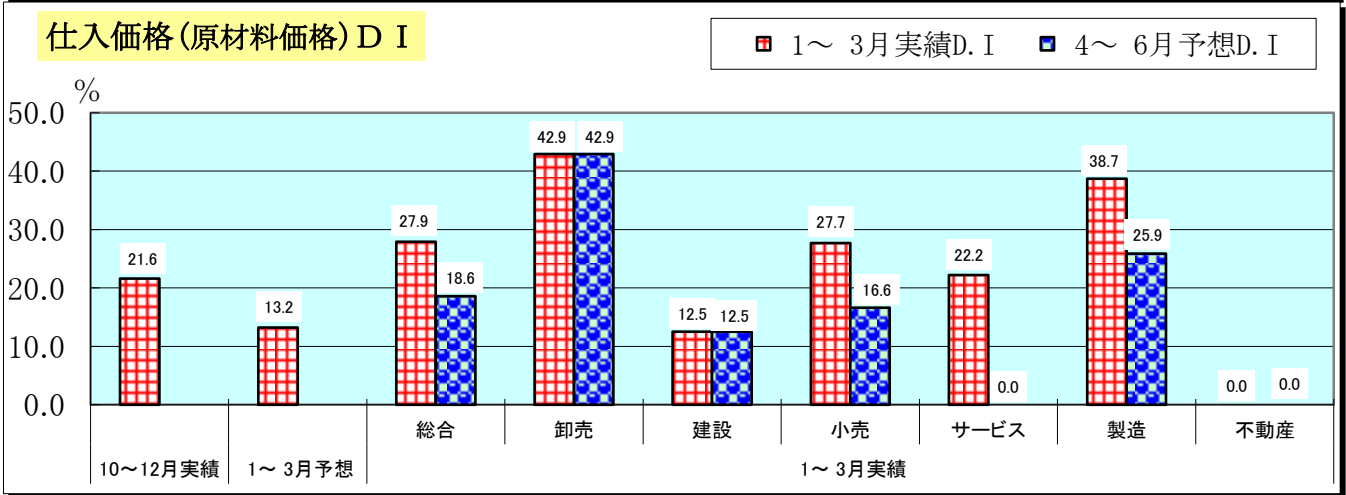
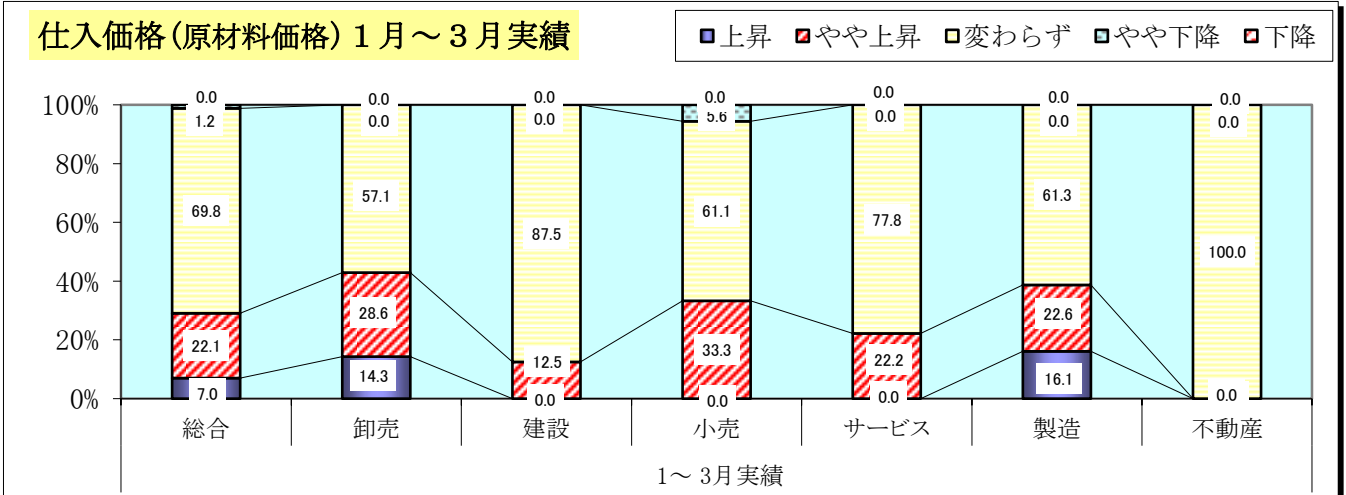
販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績							15.0	
1～3月予想							3.3	
1～3月実績	総合	1.2	10.5	81.4	3.5	3.5	4.7	-2.3
	卸売	0.0	14.3	85.7	0.0	0.0	14.3	0.0
	建設	0.0	0.0	93.8	0.0	6.3	-6.3	0.0
	小売	0.0	22.2	66.7	5.6	5.6	11.0	-5.6
	サービス	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	製造	3.2	9.7	83.9	0.0	3.2	9.7	0.0
	不動産	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0	-20.0	-20.0



- 前期に比べて販売価格が「上昇」「やや上昇」と回答している企業が11.7%、「やや下降」「下降」と回答している企業が7.0%となり、D.I.は4.7となりました。
- 今期実績は前期実績D.I. 15.0から10.3ポイントの減少、前回調査における今期予想D.I. 3.3に対しては1.4ポイントの上昇を示しました。
- 業種別では、全体的に上昇か横ばい傾向ですが、建設業・不動産業では下降傾向を示しています。
- 4～6月期の販売価格予想D.I.は△2.3で、1～3月期実績対比7.0ポイントの下降傾向を予想しています。

(5) 仕入価格（原材料価格）の動き

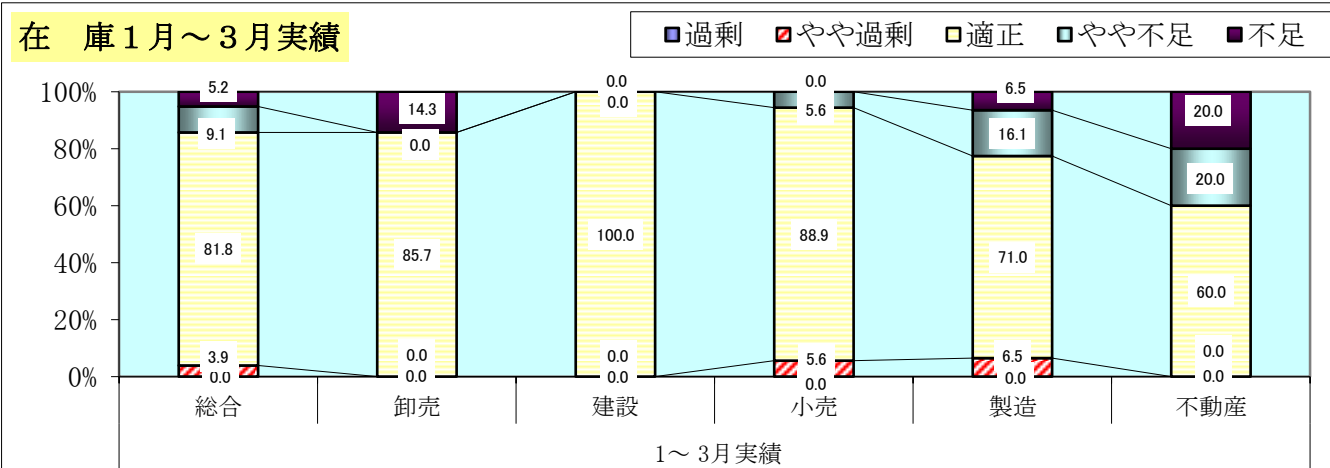
仕入価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績							21.6	
1～3月予想							13.2	
1～3月実績	総合	7.0	22.1	69.8	1.2	0.0	27.9	18.6
	卸売	14.3	28.6	57.1	0.0	0.0	42.9	42.9
	建設	0.0	12.5	87.5	0.0	0.0	12.5	12.5
	小売	0.0	33.3	61.1	5.6	0.0	27.7	16.6
	サービス	0.0	22.2	77.8	0.0	0.0	22.2	0.0
	製造	16.1	22.6	61.3	0.0	0.0	38.7	25.9
	不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



- 前期に比べて仕入価格が「上昇」「やや上昇」と回答している企業が29.1%、「やや下降」「下降」と回答している企業が1.2%で、今期実績D.I.は27.9となりました。
- 今期実績は、前期実績D.I. 21.6から6.3ポイント、前回調査における今期予想D.I. 13.2に対しても14.7ポイントの上昇を示しました。
- 業種別では、全体的に上昇傾向であり、不動産業のみ横ばいを示しました。
- 4～6月期の予想D.I.は18.6で、1～3月期実績対比9.3ポイントの下降を予想しています。

(6) 在庫の動き

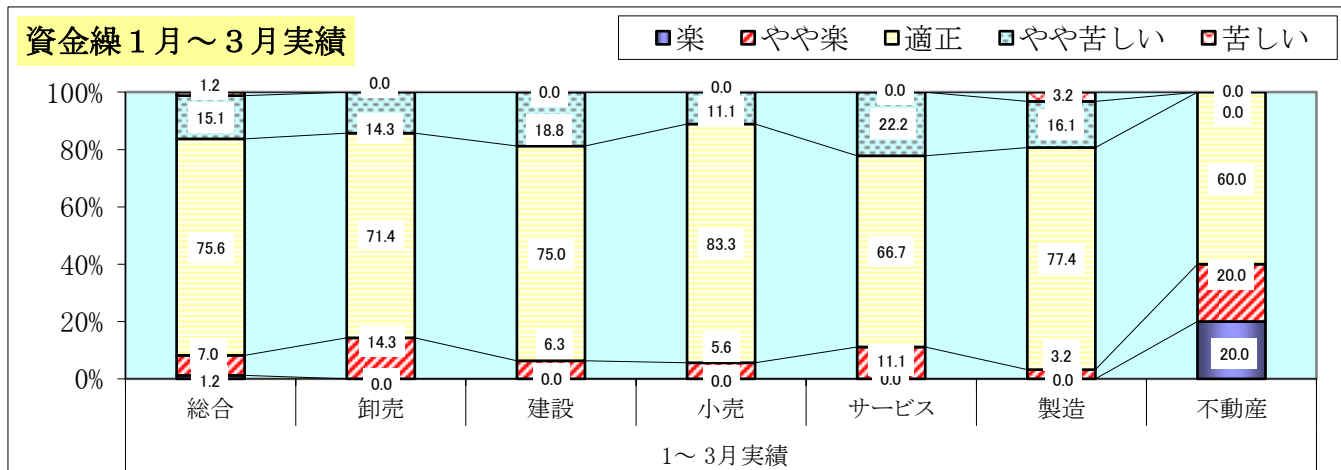
在 庫		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績							-13.0	
1～3月予想							-11.1	
1～3月実績	総合	0.0	3.9	81.8	9.1	5.2	-10.4	-11.7
	卸売	0.0	0.0	85.7	0.0	14.3	-14.3	-14.3
	建設	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小売	0.0	5.6	88.9	5.6	0.0	0.0	0.0
	製造	0.0	6.5	71.0	16.1	6.5	-16.1	-19.4
	不動産	0.0	0.0	60.0	20.0	20.0	-40.0	-40.0



- 前期に比べて在庫（サービス業を除く）が「過剰」「やや過剰」と回答している企業が3.9%、「やや不足」「不足」と回答している企業が14.3%で、今期D.I.は△10.4となりました。
- 今期実績は、前期実績D.I. △13.0から2.6ポイント、前回における今期予想D.I. △11.1に対しては0.7ポイントの上昇を示しました。
- 業種別では、全体的に不足傾向であり、建設業・小売業では横ばいを示しています。
- 4～6月期の予想D.I.は△11.7で、1～3月期実績対比1.3ポイントの不足を予想しています。

(7) 資金繰りの動き

資金繰り		楽	やや楽	適正	やや苦しい	苦しい	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績							-6.7	
1～3月予想							-11.7	
1～3月実績	総合	1.2	7.0	75.6	15.1	1.2	-8.1	-11.6
	卸売	0.0	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0	0.0
	建設	0.0	6.3	75.0	18.8	0.0	-12.5	-18.8
	小売	0.0	5.6	83.3	11.1	0.0	-5.5	-11.1
	サービス	0.0	11.1	66.7	22.2	0.0	-11.1	0.0
	製造	0.0	3.2	77.4	16.1	3.2	-16.1	-22.6
	不動産	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0	40.0	40.0



- 前期に比べて資金繰りが「楽」「やや楽」と回答している企業が8.2%、「やや苦しい」「苦しい」と回答している企業が16.3%となり、今期D.I.は△8.1となりました。
- 今期実績は前期実績D.I. △6.7から1.4ポイント悪化、前回調査における今期予想D.I. △11.7に対しては3.6ポイント良化を示しました。
- 業種別では、全体的に資金繰りが苦しい状況ですが、卸売業では適正、不動産業では楽であるという傾向を示しています。
- 4～6月期の予想D.I.は△11.6で、1～3月期実績対比3.5ポイントの悪化（苦しい傾向）を予想しています。

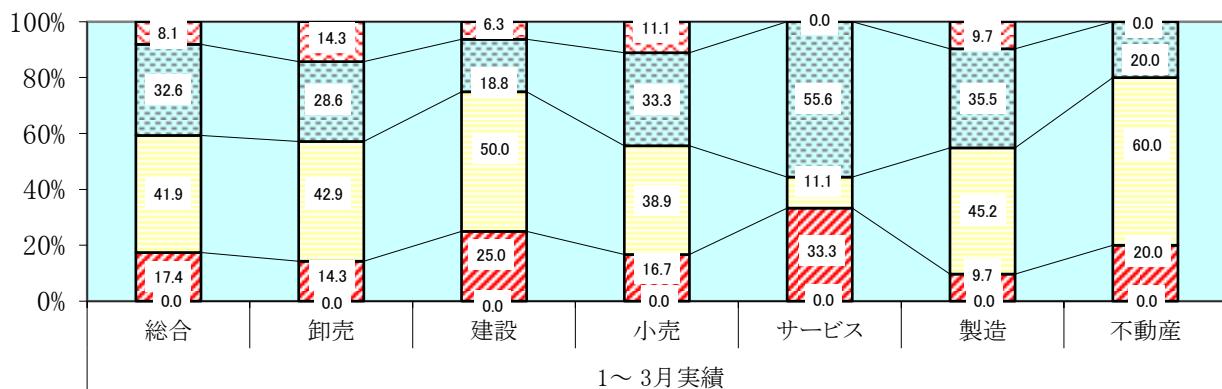
3. 対前年同期に比べた動き

(1) 売上

対前年同期比売上		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D.I
前年同期実績							-24.9
1～3月実績	総合	0.0	17.4	41.9	32.6	8.1	-23.3
	卸売	0.0	14.3	42.9	28.6	14.3	-28.6
	建設	0.0	25.0	50.0	18.8	6.3	-0.1
	小売	0.0	16.7	38.9	33.3	11.1	-27.7
	サービス	0.0	33.3	11.1	55.6	0.0	-22.3
	製造	0.0	9.7	45.2	35.5	9.7	-35.5
	不動産	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0

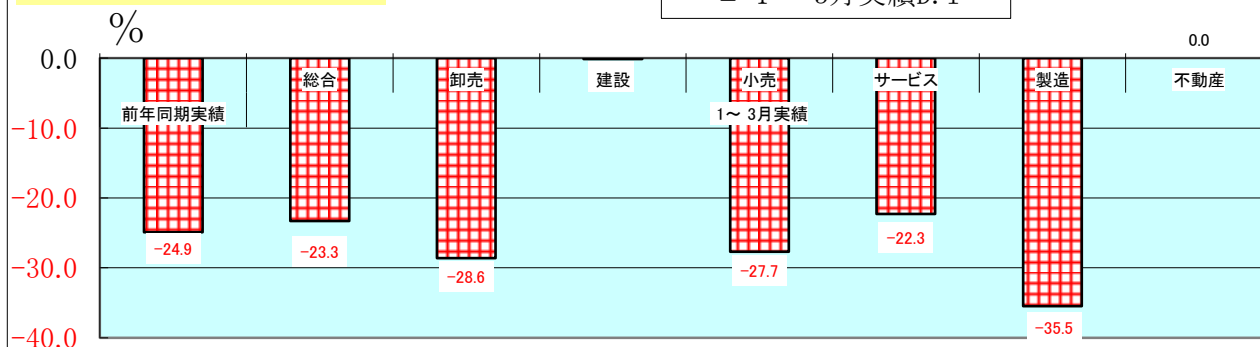
対前年同期比売上額 1月～3月実績

■増加 ■やや増加 □変わらず ■やや減少 ■減少



対前年同期比売上 D I

■ 1～3月実績D.I



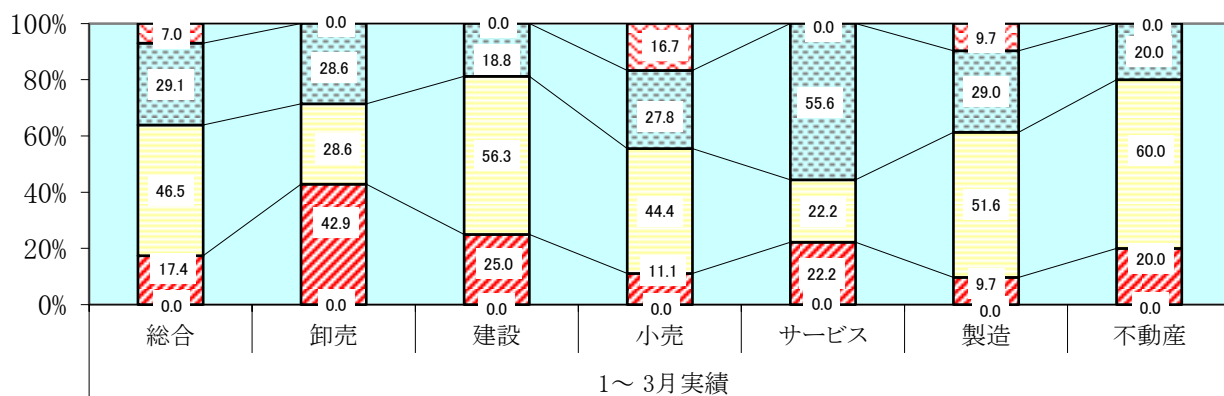
- 前年同期に比べた売上実績については、「増加」「やや増加」と回答している企業が17.4%、「やや減少」「減少」と回答している企業が40.7%で、今期D.I.は△23.3となりました。
- 今期実績は、前年同期実績D.I. △24.9に対し1.6ポイントの改善を示しました。
- 業種別では、全体的に減少傾向であり、不動産業のみ横ばいとなりました。

(2) 収益

対前年同期比収益		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D.I
前年同期実績							-23.4
1～3月実績	総合	0.0	17.4	46.5	29.1	7.0	-18.7
	卸売	0.0	42.9	28.6	28.6	0.0	14.3
	建設	0.0	25.0	56.3	18.8	0.0	6.2
	小売	0.0	11.1	44.4	27.8	16.7	-33.4
	サービス	0.0	22.2	22.2	55.6	0.0	-33.4
	製造	0.0	9.7	51.6	29.0	9.7	-29.0
	不動産	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0

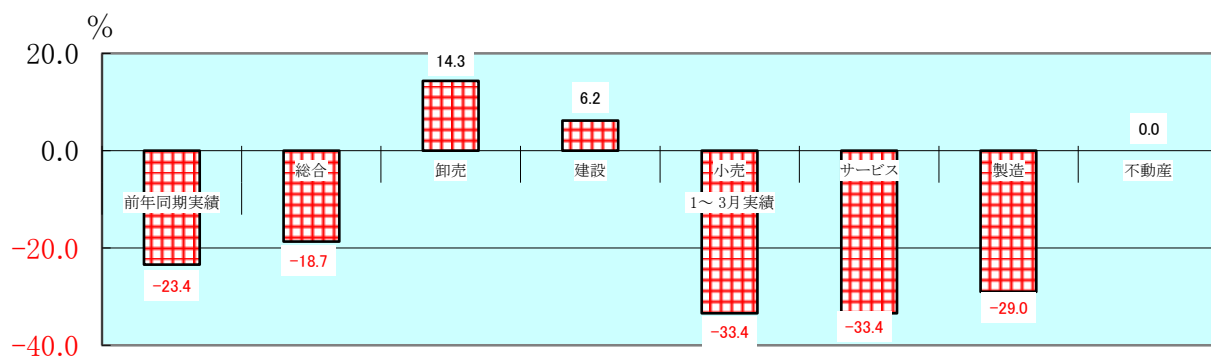
対前年同期比収益 1月～3月実績

■増加 ■やや増加 □変わらず ■やや減少 ■減少



対前年同期比収益 D.I

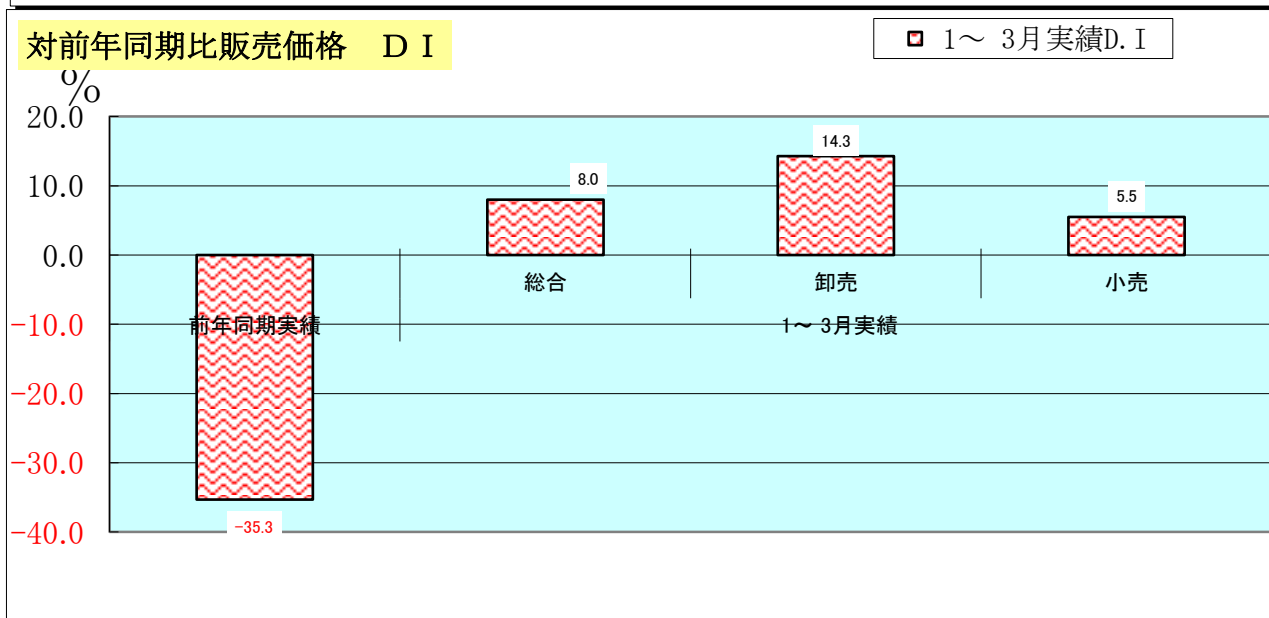
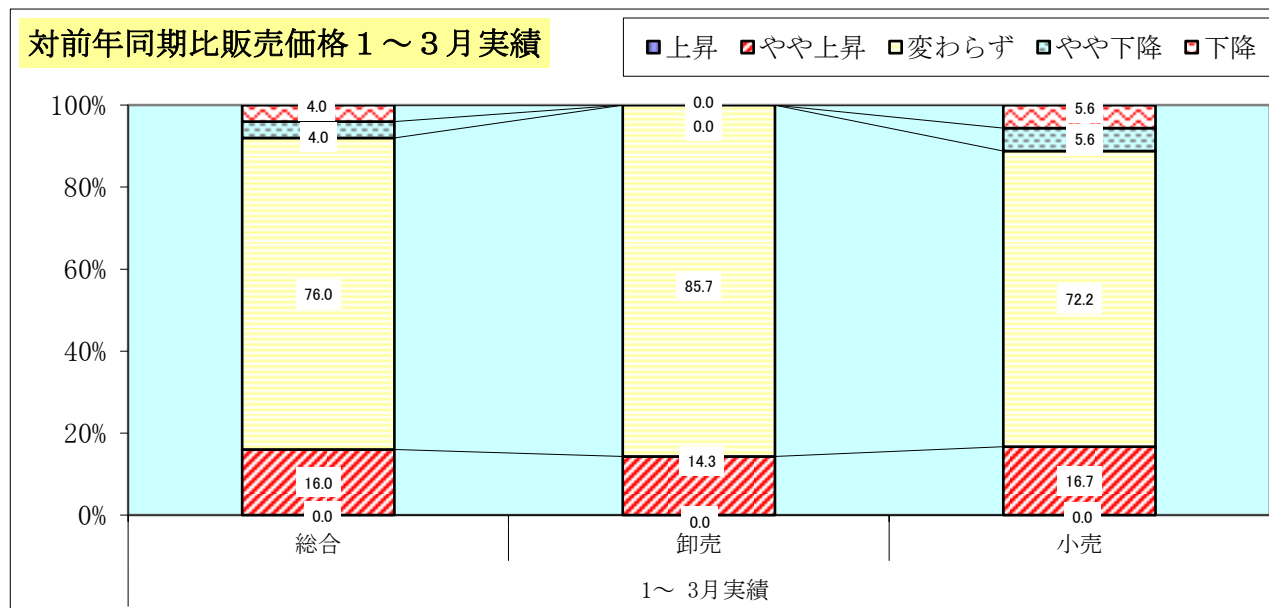
■ 1～3月実績D.I



- 収益については、「増加」「やや増加」と回答している企業が17.4%、「やや減少」「減少」と回答している企業が36.1%で、今期D.I.は△18.7となりました。
- 今期実績は前年同期実績D.I. △23.4に対し、4.7ポイントの改善となりました。
- 業種別では、小売業・サービス業・製造業で減少傾向、卸売業・建設業・不動産業で上昇か横ばいを示しています。

(3) 販売価格

対前年同期比販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	1～3月実績D.I
前年同期実績							-35.3
1～3月実績	総合	0.0	16.0	76.0	4.0	4.0	8.0
	卸売	0.0	14.3	85.7	0.0	0.0	14.3
	小売	0.0	16.7	72.2	5.6	5.6	5.5

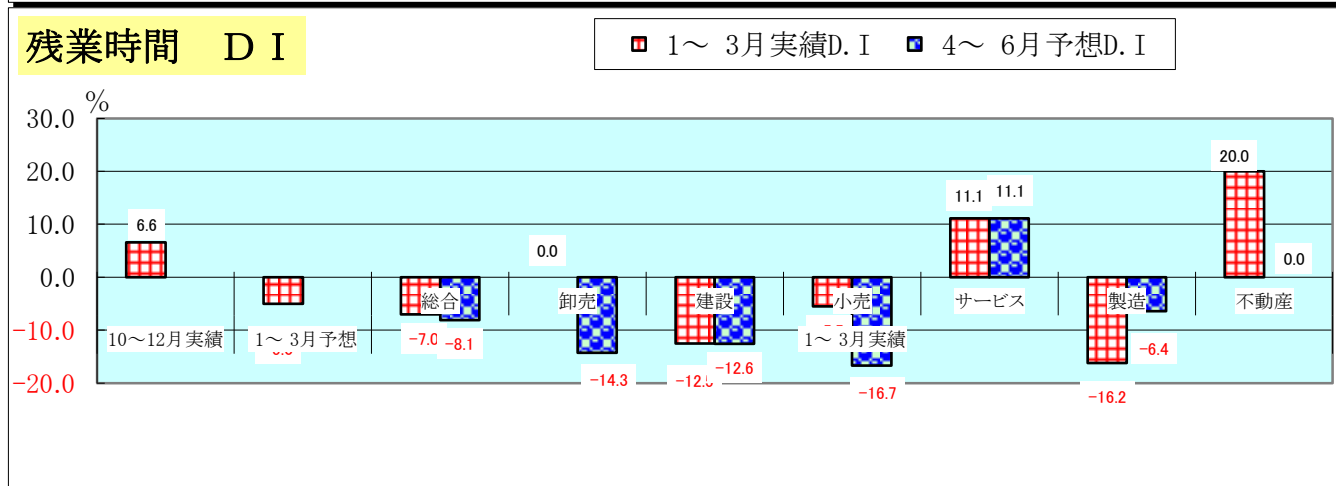
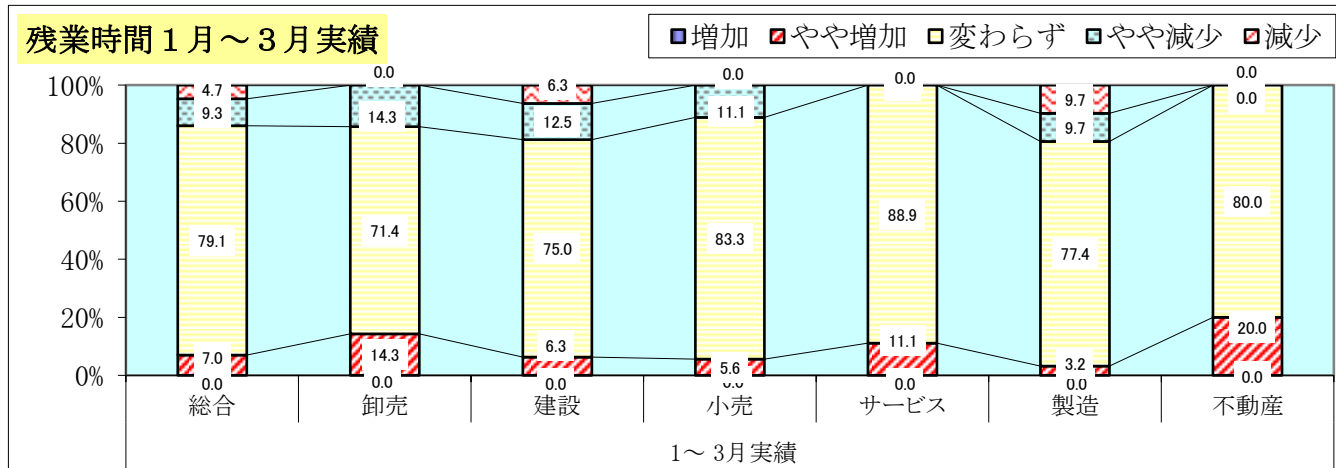


- 販売価格（卸売・小売のみ）については「上昇」「やや上昇」と回答している企業が16.0%、「やや下降」「下降」と回答している企業が8.0%となり、D.I.は8.0となりました。
- 今期実績は前年同期実績D.I. $\Delta 35.3$ に対し43.3ポイントの上昇となりました。
- 業種別では、全業種で上昇傾向を示しています。

4. 雇用面の動き

(1) 残業時間

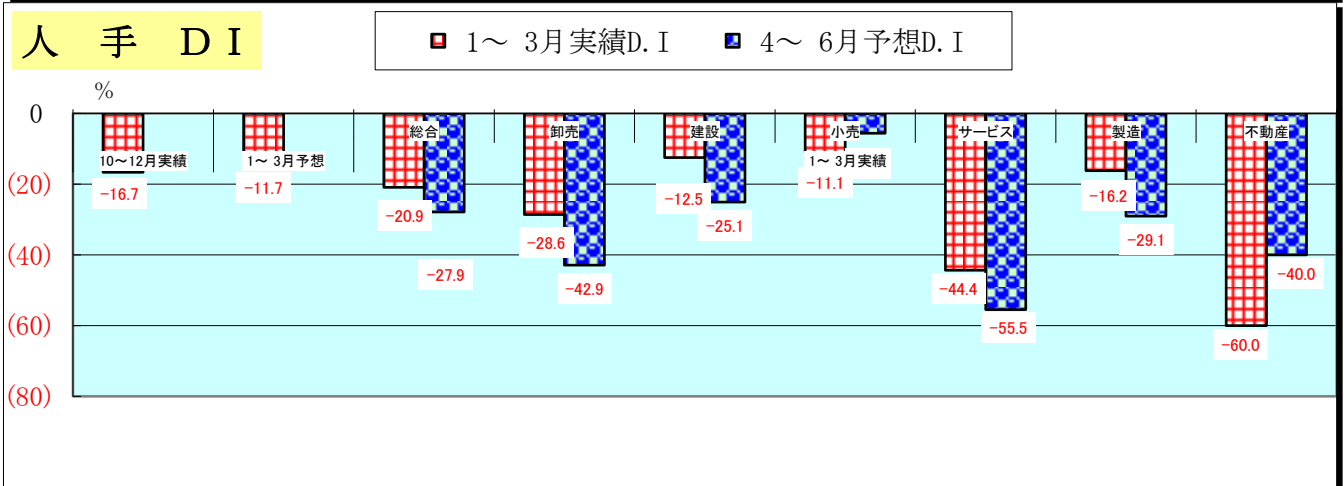
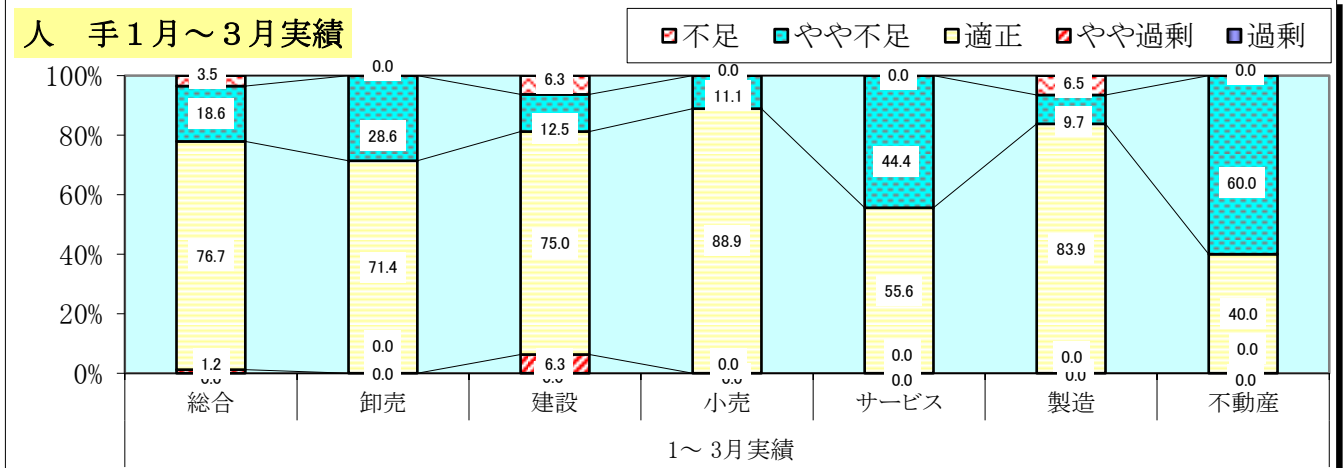
残業時間		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績							6.6	
1～3月予想							-5.0	
1～3月実績	総合	0.0	7.0	79.1	9.3	4.7	-7.0	-8.1
	卸売	0.0	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0	-14.3
	建設	0.0	6.3	75.0	12.5	6.3	-12.5	-12.6
	小売	0.0	5.6	83.3	11.1	0.0	-5.5	-16.7
	サービス	0.0	11.1	88.9	0.0	0.0	11.1	11.1
	製造	0.0	3.2	77.4	9.7	9.7	-16.2	-6.4
	不動産	0.0	20.0	80.0	0.0	0.0	20.0	0.0



- 残業時間については、「増加」「やや増加」と回答している企業が7.0%、「やや減少」「減少」と回答している企業が14.0%でD.I.は△7.0となりました。
- 今期実績は前期実績D.I. 6.6から13.6ポイント、前回調査における今期予想D.I. △5.0に対しては2.0ポイントの減少を示しました。
- 業種別では、建設業・小売業・製造業は減少傾向ですが、卸売業・サービス業・不動産業は増加か横ばいの傾向を示しています。
- 4～6月期の予想D.I.は△8.1で、1～3月期実績より1.1ポイントの減少を予想しています。

(2) 人手

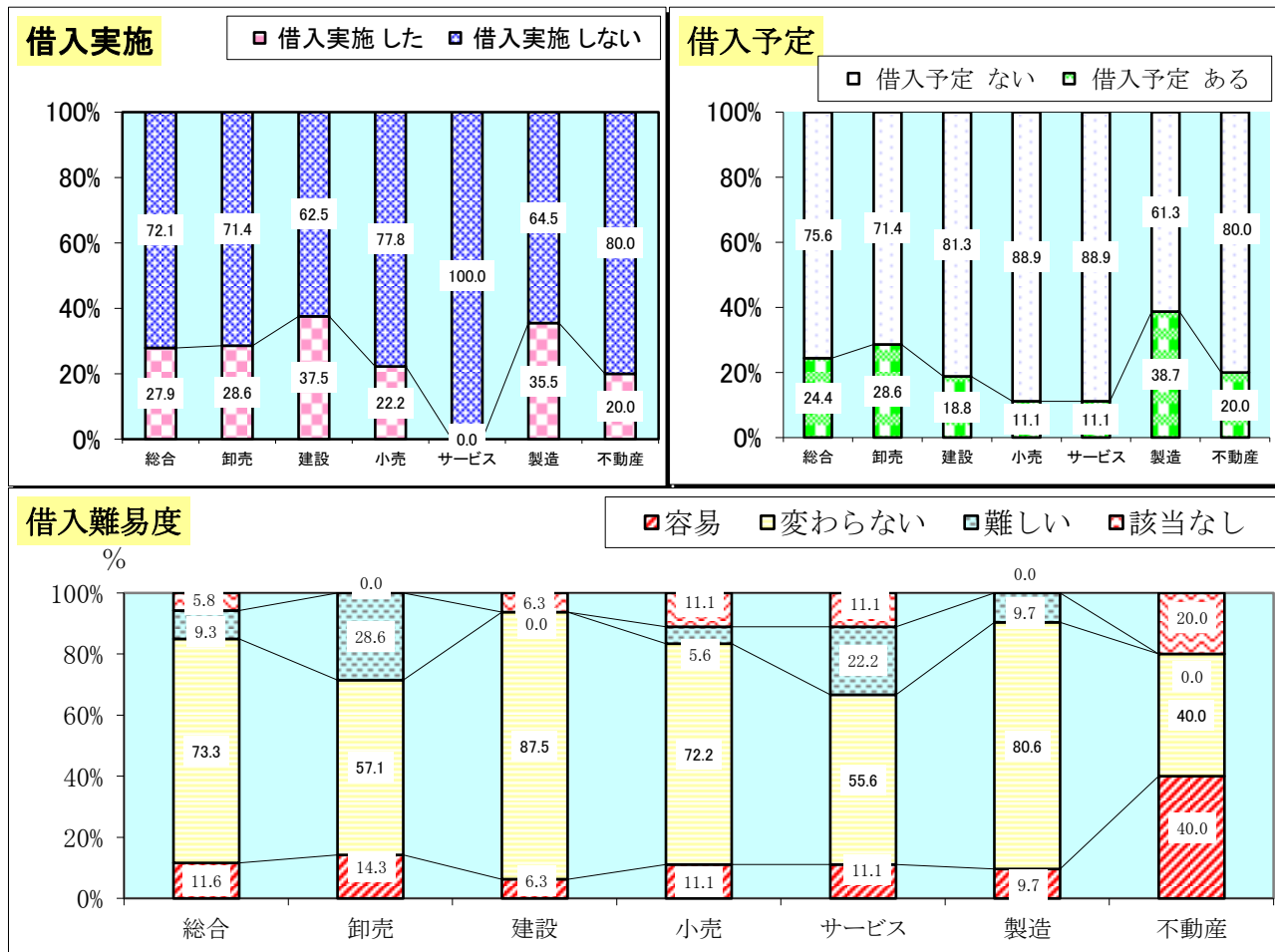
人 手		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績							-16.7	
1～3月予想							-11.7	
1～3月実績	総合	0.0	1.2	76.7	18.6	3.5	-20.9	-27.9
	卸売	0.0	0.0	71.4	28.6	0.0	-28.6	-42.9
	建設	0.0	6.3	75.0	12.5	6.3	-12.5	-25.1
	小売	0.0	0.0	88.9	11.1	0.0	-11.1	-5.6
	サービス	0.0	0.0	55.6	44.4	0.0	-44.4	-55.5
	製造	0.0	0.0	83.9	9.7	6.5	-16.2	-29.1
	不動産	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0	-60.0	-40.0



- 人手の過不足については、「過剰」「やや過剰」と回答している企業が1.2%、「やや不足」「不足」と回答している企業が22.1%で、D.I.は△20.9となりました。
- 今期実績は前期実績D.I. △16.7から4.2ポイントの不足、前回調査における今期予想D.I. △11.7に対しても9.2ポイントの不足を示しました。
- 業種別では、全業種で不足傾向となっています。
- 4～6月期予想D.I.は△27.9で、1～3月期実績D.I.より7.0ポイント不足を予想しています。

5. 借入金の動き

借入の実施	借入実施		借入予定		借入難易度			
	した	しない	ある	ない	容易	変わらない	難しい	該当なし
総合	27.9	72.1	24.4	75.6	11.6	73.3	9.3	5.8
卸売	28.6	71.4	28.6	71.4	14.3	57.1	28.6	0.0
建設	37.5	62.5	18.8	81.3	6.3	87.5	0.0	6.3
小売	22.2	77.8	11.1	88.9	11.1	72.2	5.6	11.1
サービス	0.0	100.0	11.1	88.9	11.1	55.6	22.2	11.1
製造	35.5	64.5	38.7	61.3	9.7	80.6	9.7	0.0
不動産	20.0	80.0	20.0	80.0	40.0	40.0	0.0	20.0

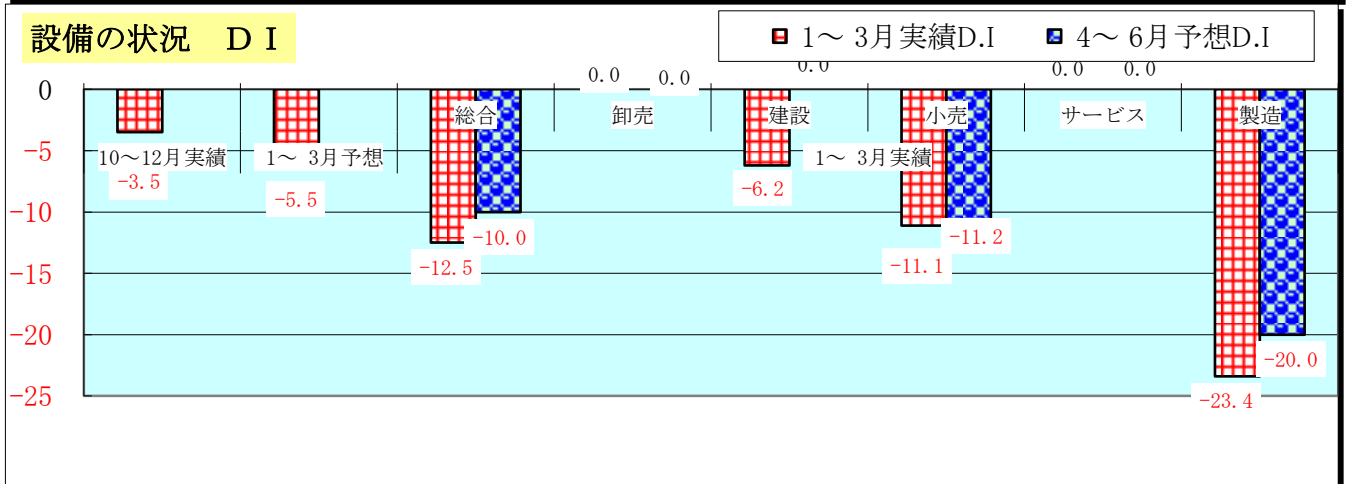
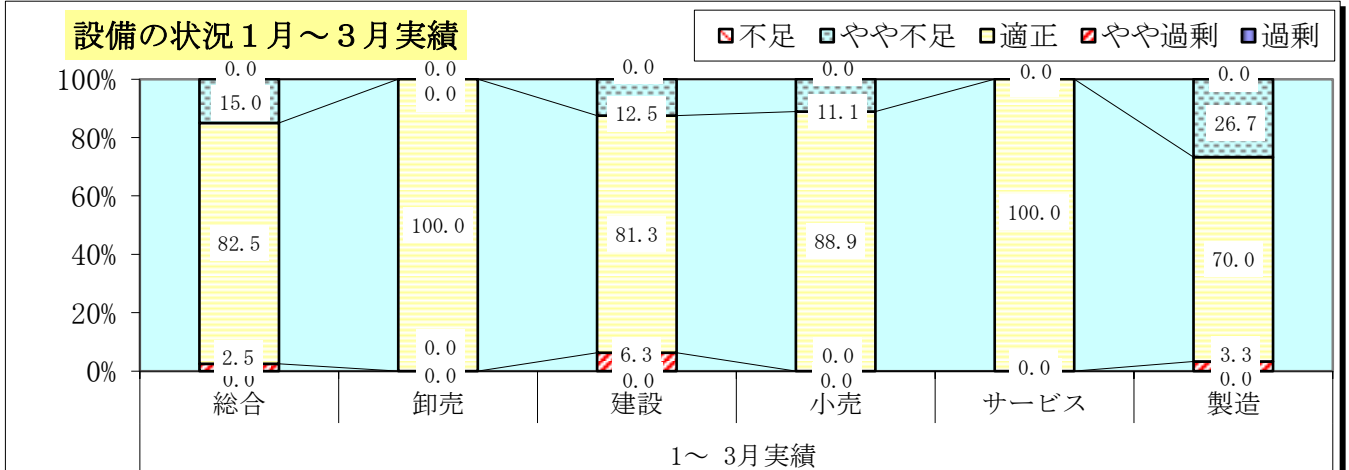


- 今期中に借入を「実施した」企業は全体の27.9%であり、その内、サービス業を除く全ての業種で借入を実施しています。
前期調査で借入実施率38.3%に対して、今期の借入実施企業の割合は10.4ポイント減少しています。
- 今後の借入予定では、24.4%の企業が「予定あり」と回答しています。
業種別では、製造業38.7%、卸売業28.6%、不動産業20.0%などとなっています。
- 民間金融機関からの借入難易度について見ると、「変わらない」と回答した企業が73.3%（前回88.3%）、「容易」は11.6%（前回1.7%）、「難しい」は9.3%（前回5.0%）となっています。

6. 設備投資の動き

(1) 設備状況

設備の動き		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績							-3.5	
1～3月予想							-5.5	
1～3月実績	総合	0.0	2.5	82.5	15.0	0.0	-12.5	-10.0
	卸売	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	建設	0.0	6.3	81.3	12.5	0.0	-6.2	0.0
	小売	0.0	0.0	88.9	11.1	0.0	-11.1	-11.2
	サービス	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	製造	0.0	3.3	70.0	26.7	0.0	-23.4	-20.0



- 設備の状況(不動産を除く)について、「過剰」「やや過剰」と回答している企業が2.5%、「不足」「やや不足」と回答している企業が15.0%で、今期D.I.は△12.5%となりました。
- 今期実績は、前期実績D.I. △3.5に対して9.0ポイント、前回調査における今期予想D.I. △5.5に対しても7.0ポイント不足を示しました。
- 業種別では、全体的に不足傾向で、卸売業・サービス業では横ばいを示しました。
- 4～6月期予想D.I.は△10.0で、1～3月期実績D.I.より2.5ポイント増加を予想しています。

(2) 設備投資の実施と予定状況

(複数回答)

設備投資の実施内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
1～3月(件数) 総合	1	2	4	2	17	1	55
卸売	0	0	0	0	0	0	7
建設	0	1	0	0	2	0	14
小売	1	0	2	1	14	0	0
サービス	0	0	0	1	1	1	7
製造	0	1	2	0	0	0	27

設備投資の予定内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
4～6月(件数) 総合	1	5	3	2	17	0	55
卸売	0	0	1	0	0	0	6
建設	0	1	0	1	2	0	13
小売	1	1	2	1	15	0	0
サービス	0	0	0	0	0	0	9
製造	0	3	0	0	0	0	27

- 設備投資の実施状況は、「実施した」企業が延べ27件で前期の18件を9件上回りました。業種別内訳では、小売業が18件、建設業・サービス業・製造業が各3件実施しました。実施した設備内容は「車両」17件、「機械更改」4件、「機械新增設」「事務機器」各2件、「土地建物」「その他」各1件となっています。
- 来期の設備投資の予定を見ると、「予定あり」と回答した企業は延べ28社となっています。業種別内訳では小売業20件、建設業4件、製造業3件、卸売業1件が予定されています。設備投資計画の内容を見ると、「車両」17件、「機械新增設」5件、「機械更改」3件、「事務機器」2件、「土地建物」1件を予定しています。

経営上の問題点（項目別構成比「集計」）

（複数回答）

（業種別度数）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
売上の停滞・減少	1	3	7	8	4	9	3	3	6	9	1	2	22	34	16.1	17.9
同業者間の競争激化	0	0	2	3	5	5	0	2	2	2	3	1	12	13	8.8	6.8
利幅の縮小	0	3	5	5	2	6	1	2	6	9	2	2	16	27	11.7	14.2
人件費の増加	0	0	0	2	1	1	2	1	2	3	0	0	5	7	3.6	3.7
工場・機械（店舗設備）の狭小・老朽化	1	1	0	0	0	0	0	2	7	8	0	0	8	11	5.8	5.8
人件費以外の経費の増加	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0.7	0.5
大手企業（大型店）との競争激化	1	2	2	1	2	1	0	0	0	0	1	0	6	4	4.4	2.1
合理化の不足	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	2	1.5	1.1
天候の不順	0	0	2	1	4	3	0	1	1	0	0	0	7	5	5.1	2.6
代金回収の悪化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
原材料高・材料価格の上昇	0	0	5	2	0	0	0	0	9	12	0	0	14	14	10.2	7.4
地場産業の衰退	0	0	2	1	1	1	2	2	1	1	0	0	6	5	4.4	2.6
集客力の低下	0	0	1	1	3	2	0	0	0	0	0	0	4	3	2.9	1.6
駐車場・資材確保難	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.5
為替レートの変動	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	1.5	0.5
販売商品の不足・商品物件の不足	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	2	4	1.5	2.1
販売納入先からの値下げ要請	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	2	3	1.5	1.6
人手不足	1	2	3	6	2	2	1	4	6	8	0	1	13	23	9.5	12.1
商圏人口の減少	0	0	0	0	6	8	1	1	0	0	0	0	7	9	5.1	4.7
取引先の減少	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.0	0.5
生産能力の不足・技術力の不足	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	5	0.0	2.6
輸入製品（商品）との競争激化	1	1	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	2	6	1.5	3.2
問題なし	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.5
地価の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.0	0.5
流通経路競争の激化	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.5
大手企業・工場の縮小・撤退	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0.7	0.5
親企業による選別の強化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
小口注文・多頻度配送の激化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
商品物件の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
取扱商品（業務）の陳腐化	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0.7	0.5
仕入先からの値上り要請	0	0	0	0	2	2	0	0	1	2	0	0	3	4	2.2	2.1
下請けの確保難	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2	0.7	1.1
合計	9	16	29	34	34	44	10	20	47	68	8	8	137	190	100.0	100.0

○ 各企業が経営上の問題点として挙げている項目を見ていくと

第1位～ 「売上の停滞・減少」	34 件	*前期*	第1位～ 「売上の停滞・減少」	22 件
第2位～ 「利幅の縮小」	27 件		第2位～ 「利幅の縮小」	16 件
第3位～ 「人手不足」	23 件		第3位～ 「原材料高・材料価格の上昇」	14 件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
製造業	原材料高・材料価格の上昇	12	売上の停滞・減少	9	利幅の縮小	9
小売業	売上の停滞・減少	9	商圏人口の減少	8	利幅の縮小	6
建設業	売上の停滞・減少	8	人手不足	6	利幅の縮小	5
サービス業	人手不足	4	売上の停滞・減少	3	同業者間の競争激化 他	2

当面の重点経営施策（項目別構成比「集計」）（複数回答）
（業種別度数）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
経費を節減する	2	4	10	9	8	11	3	5	12	15	2	1	37	45	28.7	23.8
販路を広げる	2	4	5	8	0	0	2	3	9	15	1	0	19	30	14.7	15.9
情報力を強化する	1	1	3	1	0	0	0	0	6	9	3	3	13	14	10.1	7.4
人材を確保する	2	4	3	8	1	1	1	4	7	9	0	0	14	26	10.9	13.8
技術力を強化（高める）	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	3.9	2.6
流通経路の見直しをする	0	0	0	1	0	0	0	0	2	10	0	0	2	11	1.6	5.8
機械化を推進する	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	2	0.8	1.1
パート化を図る	0	1	2	0	2	4	2	3	1	1	0	1	7	10	5.4	5.3
新商品・技術の開発・新しい工法の導入	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0.0	1.1
宣伝・広告を強化する	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	3	2	2.3	1.1
品揃えを充実（改善）する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.0	0.5
新しい事業を始める	0	0	0	0	2	3	2	3	0	0	3	2	7	8	5.4	4.2
仕入先を開拓・選別する	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	2	0.8	1.1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.0	0.5
売れ筋商品を取扱う	0	0	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	3	4	2.3	2.1
特になし	0	0	0	0	0	1	0	0	3	1	0	1	3	3	2.3	1.6
店舗・設備を改装する	0	0	0	0	2	2	1	2	0	0	0	0	3	4	2.3	2.1
工場・機械を増設・移転する	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0.8	0.5
不動産の有効活動を図る	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.5
輸入品の取扱を増やす	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0.8	0.5
取引先を支援する	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	1	3	0.8	1.6
商店街事業を活性化させる	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2	2	1.6	1.1
営業時間を延長する	0	1	0	0	5	6	0	0	0	0	0	0	5	7	3.9	3.7
提携先を見つける	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	1	3	0.8	1.6
不採算部門を整理・縮小する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
労働条件を改善する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
教育訓練を強化する	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.5
合計	8	15	28	34	27	39	12	22	43	68	11	11	129	189	100.0	100.0

○ 経営上の問題克服のために、企業経営者が講じている重点経営施策としては

第1位～ 「経費を節減する」 45 件
 第2位～ 「販路を広げる」 30 件
 第3位～ 「人材を確保する」 26 件

前期	
第1位～ 「経費を節減する」	37 件
第2位～ 「販路を広げる」	19 件
第3位～ 「人材を確保する」	14 件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第 1 位		第 2 位	
製造業	経費を節減する	15	販路を広げる	15
建設業	経費を節減する	9	販路を広げる 他	8
小売業	経費を節減する	11	営業時間を延長する	6
サービス業	経費を節減する	5	人材を確保する	4

特別調査

「人手不足下における中小企業の人材活用策について」

問 1 貴社では、従業員に占める女性の割合（非正規含む）はおよそどのくらいですか。また、女性が最も活躍している職務はどのような分野ですか。次の中からそれぞれ1つ選んでお答え下さい。

	割合					最も活躍している職務分野				
	1. 10%未満	2. 10%以上 30%未満	3. 30%以上 50%未満	4. 50%以上 70%未満	5. 70%以上	6. 営業 販売 接客	7. 総務 経理 庶務	8. 企画 管理 研究開発	9. 製造 生産 現場作業	0. その他
合計（構成比）	27%	29%	16%	18%	9%	21%	41%	1%	27%	9%
総合	23	25	14	15	8	18	35	1	23	8
卸売	1	4	1	1	0	2	4	0	1	0
建設	8	7	1	0	0	0	14	0	1	1
小売	6	4	3	5	0	9	8	0	0	1
サービス	1	1	3	3	1	5	2	0	1	1
製造	5	9	4	5	7	1	5	1	20	3
不動産	2	0	2	1	0	1	2	0	0	2

割合に関しては「10%以上30%未満」が29%、「10%未満」が27%、「50%以上70%未満」が18%となり、低い割合となりました。職務分野に関しては「総務・経理・庶務」が41%、「製造・生産・現場作業」が27%、「営業・販売・接客」が21%となり、最も活躍しているのは「総務・経理・庶務」という結果となりました。

問 2 貴社では、従業員に占める高齢者（60歳以上）の割合（非正規含む）はおよそどのくらいですか。また、高齢者が最も活躍している職務はどのような分野ですか。次の中からそれぞれ1つ選んでお答え下さい。

	割合					最も活躍している職務分野				
	1. 10%未満	2. 10%以上 30%未満	3. 30%以上 50%未満	4. 50%以上 70%未満	5. 70%以上	6. 営業 販売 接客	7. 総務 経理 庶務	8. 企画 管理 研究開発	9. 製造 生産 現場作業	0. その他
合計（構成比）	39%	32%	11%	12%	7%	27%	5%	6%	49%	13%
総合	33	27	9	10	6	23	4	5	42	11
卸売	5	2	0	0	0	3	0	1	3	0
建設	3	10	1	1	1	1	1	1	12	1
小売	7	5	2	2	2	11	1	2	2	2
サービス	5	4	0	0	0	4	0	1	1	3
製造	10	6	6	6	2	2	2	0	23	3
不動産	3	0	0	1	1	2	0	0	1	2

割合に関しては「10%未満」が39%、「10%以上30%未満」が32%、「50%以上70%未満」が12%となり、低い割合となりました。職務分野に関しては「製造・生産・現場作業」が49%、「営業・販売・接客」が27%、「その他」が13%となり、最も活躍しているのは「製造・生産・現場作業」という結果となりました。

問 3 貴社では、従業員に占める外国人の割合（非正規含む）はおよそどのくらいですか。また、外国人が最も活躍している職務はどのような分野ですか。次の中からそれぞれ1つ選んでお答え下さい。

	割合					最も活躍している職務分野				
	1. 10%未満	2. 10%以上 30%未満	3. 30%以上 50%未満	4. 50%以上 70%未満	5. 70%以上	6. 営業 販売 接客	7. 総務 経理 庶務	8. 企画 管理 研究開発	9. 製造 生産 現場作業	0. その他
合計（構成比）	96%	2%	0%	1%	0%	2%	0%	1%	13%	84%
総合	82	2	0	1	0	2	0	1	11	71
卸売	7	0	0	0	0	1	0	0	0	6
建設	16	0	0	0	0	1	0	0	1	14
小売	18	0	0	0	0	0	0	1	2	15
サービス	9	0	0	0	0	0	0	0	1	8
製造	27	2	0	1	0	0	0	0	7	23
不動産	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5

割合に関しては「10%未満」が96%、「10%以上30%未満」が2%、「50%以上70%未満」が1%となり、非常に低い割合となりました。職務分野に関しては「その他」84%、「製造・生産・現場作業」が13%、「営業・販売・接客」が2%となり、最も活躍しているのは「製造・生産・現場作業」という結果となりました。

問 4 女性、高齢者、外国人の活躍推進それぞれについて、貴社では、今後、どのようにお考えですか。あてはまるものをそれぞれ一つずつ選んでお答え下さい。

	女性の活躍			高齢者の活躍			外国人の活躍		
	1. 増やす方針	2. どちらともいえない	3. 減らす方針	1. 増やす方針	2. どちらともいえない	3. 減らす方針	1. 増やす方針	2. どちらともいえない	3. 減らす方針
合計（構成比）	26%	74%	0%	14%	80%	6%	5%	94%	1%
総合	22	63	0	12	68	5	4	80	1
卸売	2	5	0	3	4	0	0	7	0
建設	1	15	0	1	12	3	0	16	0
小売	1	17	0	1	17	0	0	18	0
サービス	5	4	0	2	6	1	0	8	1
製造	10	20	0	4	25	1	4	26	0
不動産	3	2	0	1	4	0	0	5	0

上記の質問に対しては、全項目で「どちらともいえない」が最も多く、次いで「増やす方針」、「減らす方針」はごくわずかとなり、全体的に現状維持の方針が多いという結果となりました。

問 5 政府は、「働き方改革実現会議」において、以下の9項目を課題として検討しています。これら9項目のうち、貴社が注力しようと考えているものを、以下の中から3つ以内でお答えください。

	1. 同一労働同一賃金など非正規雇用の処遇改善	2. 賃金引き上げと労働生産性の向上	3. 長時間労働の是正	4. 柔軟な転職支援、格差是正のための人材教育	5. テレワーク、副業・兼業など柔軟な働き方	6. 女性・若者が活躍しやすい環境整備	7. 高齢者の就業促進	8. 病気の治療、子育て・介護と仕事の両立	9. 外国人材の受入れ	10. 特にない
合計（構成比）	3%	23%	8%	3%	1%	27%	12%	5%	5%	13%
総合	5	34	12	5	1	39	17	8	7	19
卸売	0	5	3	0	0	2	2	1	0	1
建設	1	9	1	1	0	7	4	0	1	3
小売	1	9	1	1	0	5	3	4	0	4
サービス	1	4	0	1	0	8	1	2	0	0
製造	2	6	7	2	0	14	6	1	5	9
不動産	0	1	0	0	1	3	1	0	1	2

上記の質問に対しては、「女性・若者が活躍しやすい環境整備」との回答が27%で最も多く、次いで「賃金引き上げと労働生産性の向上」が23%、「特にない」が13%という結果となりました。全体の78%の企業は何らかの取組みを行う考えがあることがわかりました。